

# 広げよう世界のきずな



色とりどりの衣装が勢ぞろい



台湾茶道の体験も

外国人と市民の交流を深めようと10月17日、中央公民館で「国際市民フェスティバル」が行われました。テーマは「みんなで広げよう世界のきずな」。中庭に設置されたペルーやイラン・スリランカ・メキシコ・モンゴルなど世界各国の屋台には、普段はなかなか味わうことのできない名物料理を求めてたくさんの方が並びました。また、講堂では、各国の鮮やかな民族衣装のファッションショーや、ダンス・演芸などが披露され、会場は大盛り上がりでした。ファッションショーに参加した子どもたちは「かわいい衣装を着られてうれしい」と大満足の様子でした。

## 健康・福祉まつり

### 元気のヒントがいっぱい

健康づくりに役立つさまざまな催しが行われる「健康・福祉まつり」が10月16日・17日、保健福祉館を会場に開催されました。会場には、体脂肪測定・ストレスチェックといった、健康維持に役立つ各種コーナーが設けられたほか、ミニトレインの運行や人形劇など、子どもたちが楽しめるイベントも盛りだくさん。この機会に自分や家族の健康を見直そうと多くの家族連れが訪れ、多彩な催しの数々を楽しんでいました。



親子で楽しめるイベントも

## スポーツ選手活用体力向上卓球教室

## スマッシュの速さにドキドキ



こんしん  
渾身のスマッシュはラケットに当たるか

スポーツ選手と触れ合うことで、小学生にスポーツの楽しさを知ってもらおうと10月21日、「スポーツ選手活用体力向上卓球教室」が久住第二小学校で開かれました。

講師として招かれたのは、卓球界で活躍する木方慎之介さんと横山友一さん。二人が普段練習で行っているラリーやスマッシュを披露すると、児童たちからは歓声と拍手が。二人の講師から、「ラケットを動かさないで持ってれば、そこにスマッシュを当てると」と言われると、子どもたちは緊張しながらもラケットを手に。見事にスマッシュが命中すると、「もう1回やりたい」と大はしゃぎし、卓球台に列を作っていました。

## 市消防操法大会

## 訓練の成果披露



船形チーム  
(小型ポンプの部)



台方チーム  
(ポンプ車の部)

各地区の消防団が日々の訓練成果を競う「成田市消防操法大会」が10月24日、大栄B&G海洋センター運動場で開催されました。競技はポンプ車の部と小型ポンプの部の2部門で、実際に放水を行わない「空操法」で実施。参加した31チームの消防団員たちは、それぞれの仕事の傍ら早朝や夜間に訓練を重ねて培った操法技術を披露しました。

## 主な成績

## ポンプ車の部

優勝 台方

準優勝 伊能

第3位 新勝寺

努力賞 花崎町・上町

## 小型ポンプの部

優勝 船形

準優勝 前林第2

第3位 土室

努力賞 下方

## NARITA花火大会in印旛沼5th

## 秋の夜空を彩る8,000発

約8,000発の花火が秋の成田の夜空を鮮やかに染め上げる「NARITA花火大会in印旛沼5th」が10月16日、八代地先の北印旛沼湖畔で行われました。この日、会場に訪れた観客は約7万人。市制56周年にちなんだ“尺玉56連発”や音楽に合わせて打ち上がる“花火ファンタジア”、直径約60cmの大玉“2尺玉”に、観客たちは歓喜の声を上げていました。



秋の成田の風物詩に、大勢の観客が沸いた

## 花火大会初のグッドデザイン賞を受賞

市内小学校で行われた花火教室で子どもたちがデザインした花火を当日に打ち上げるといった参加型の取り組みが珍しいということ、市民ボランティアと花火職人が共に作り上げた大会であることなどが評価されての受賞となりました。グッドデザイン賞は、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する総合的なデザイン評価・推奨制度で、1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創立された「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」が母体になっています。

## 市場探検隊

## 野菜の収穫や職場体験も



お釣りもしっかり渡せるよ

子どもたちに食べ物の流通の仕組みを知ってもらおうと10月23日、成田市場で「市場探検隊」が行われました。参加したのは28人の小学生。市内の農家で野菜を収穫したり、マグロの競りを体験したりしました。職場体験では、魚屋・漬物屋などに分かれて、商品の販売をお手伝い。子どもたちは、お客さんを呼び込もうと大きな声を出して宣伝したり、商品を買ってくれたお客さんにお釣りを渡したりと、かわいい売り子として市場を盛り上げ、大活躍しました。